

第2回子育て・教育部会 主な意見

《学校再編について》

●小中一貫校への懸念

- ・上級生の影響が早くから子どもに及ぶことへの不安もある。先生が子どもへ寄り添う配慮・サポートの充実が必要
- ・子どもが9年間同じ学校に行くことで、(いじめ等)何か問題が起きるのではないか

●小中一貫校に感じるメリット

- ・人数が多くて個性がたくさんある方が楽しいし、人間形成にとっても大きい
- ・そのような経験をさせるために、大きな学校に入れたほうが良いと思う親も多いと思う
- ・子どもにとって異なる価値観を知り融合していく機会というのは良い勉強。ただ、価値観を融合していくために、教員に求められる技量は大きい

●学校再編に向けた考え

- ・新しい学校をどういう学校にしたいか、前向きな議論が出来たら良いと思う
- ・和泉市のモデルとなるような、みんなが夢を持てるような学校を目指したい
- ・地域の人たちが入り込み多世代交流が盛んな学校が作れないか
- ・当事者である生徒・保護者が義務教育校に関心を持ち、乗り気になってもらうアプローチも必要ではないか

●その他

- ・義務教育学校になっても教員の加配制度は適用されるのか。適用される場合、現状の数に上乗せされるのか知りたい。

《子育て環境について》

●子どもや親が関係を作れる地域の居場所について

- ・学校だけでは心を開きにくい親もいる。気軽に話せる場が求められていると思う
- ・相談に来ること自体を目的にするのではなく、普段気軽に立ち寄れる場があると良い
- ・地域に特徴ある居場所を増やして、子どもが自分の居場所を複数から選べるのが大事

●その他

- ・幸校区に三世代住み続けている人は珍しくなっている。一人暮らしの高齢者が多い
- ・地域の人と親子の関係性を作り、会えばあいさつし合うのが当たり前の状況に変えたい
- ・和泉第一団地の前にある JR 阪和線の踏切は、小学校低学年にとって危険で対策が必要
- ・校区設定を新たにどうするか、別の機会に考えたほうが良い